

令和4年度第3回イベントを開催しました！

日時：令和5年2月18日(土)AM9:30~12:00

場所：大池公園会議室と園内一帯

参加者：25名(住民12、東海緑樹5、樹木医1、東海市役所3、事務局4)

今年度3回目のイベントは『さくらの健康を考えよう(その2)』として、樹木医さんの説明と指導を受けながら、遊戯広場と芝生広場の境にある5本のさくらへの施肥と土壌改良作業を行いました。

寒い時期にもかかわらず、汗をかく程、また、小さな参加者は『疲れた』を連発する程熱心に作業が行われました。こういった作業はついつい夢中になって頑張りすぎるものです。

作業の後、園内を巡りながら、東海市の方にこのところ実施した剪定や伐採によって開放的になった園内の様子の説明を受けました。

このイベントも今年度あと一回となりました。最後の第4回では、さくらに名札を付けたり、施肥も行う予定です。

間もなく迎えるさくらの開花が楽しみとなりました。



会議室での様子



参加者持参の河津桜

令和4年度イベントスケジュール(内容は予定)

第1回イベント【2022年11月12日(土)】



『日当りを良くしよう』
専門家の指導のもと、さくらの周りの支障木や枝を伐採し、さくらの生育を促進させます。

第2回イベント【2022年12月3日(土)】



『さくらの健康を考えよう(その1)』
樹木医の先生からさくらの基礎知識や樹勢回復方法などを聞き、そのあと、さくらの元気度調べを行います。

第3回イベント【2023年2月18日(土)】



『さくらの健康を考えよう(その2)』
前回と同様に、樹木医の先生の指導のもと、さくらの根元の土を柔らかくして肥料をあげます。

第4回イベント【2023年3月4日(土)】

『肥料をあげた木に名ふだをつけよう』
施肥と、さくらに名ふだを付けさくらに興味を持ってもらいます。

このイベントの概要

- 大池公園(東海市中央町三丁目、面積約24.8ha)は1973年(昭和48年)に緩衝緑地として開園。さくらの名所として毎年春にはソメイヨシノ他のさくらが咲き誇り、最近ではライトアップも行われ花見の名所となっていますが、開園後約50年が経過しソメイヨシノ等の老木化が目立ってきました。
- 『大池公園さくら再生イベント』は、大池公園のさくらをこの先も楽しめるよう、市民の皆さんと東海市で協働して守り次世代に引き継いでいくと共に再生させ、名所としての魅力を更に付加することを目指して令和元年度に始まり継続しています。
- 『大池公園さくら再生イベント』は令和2年度に3回、同3・4年度に各4回、簡易な樹木管理を実施してきました。さくら再生事業は今後も何らかの形で継続されていく見込みですので、ご期待頂き引き続きご支援をお願いいたします。

施肥と土壌改良の意義

施肥は比較的容易で効果的な作業だと考えがちだがそれほど簡単ではない。樹木は水と光と二酸化炭素を自給自足し光合成を行い成長するので、肥料は不要と思えるが、窒素・リン酸・カリが少量必要。ただし、これら肥料があれば十分だともいえない。畑では耕運が不可欠だし、植木鉢には培養土を入れる。つまり根が張れる柔らかい状態の土壌にして根が肥料を吸収できるようにして肥料を与えることが重要。土壌改良とは固結した土を耕し、細根(細い根)が出やすくなるようにすることともいえる。

今回なるべく多くの穴を掘り、穴に堆肥と肥料を入れる。根は養分以外にも呼吸しているので酸素も欲する。舗装の下でも水分と酸素があれば根はどんどん伸びていく。土壌改良と施肥は一緒にやっこそ意味がある。

今回の施肥の方法は、まず、直径・深さ共15~20cm程度の穴をさくらの樹冠の範囲程の地面に掘り、次いで今回は穴に固形肥料を3個入れる(掘る穴の数と入れる固形肥料の量がさくら1本当りの施肥量に影響する)、そして、掘った土とバーク堆肥を混ぜ埋め戻す。

化成肥料について

化成肥料の成分は窒素(N)・リン酸(P)・カリ(K)。窒素は光合成を助け枝葉を茂らせ、リン酸は花や実をつけさせる、カリは根に活力を与える。化成肥料の配合は、100g中の量で、例えば配合がN:P:K=8:8:8なら、それぞれの成分が8gずつ含まれている。残りの成分は粘土。高配合の肥料を与えると肥料障害を起こす。逆に低い配合のものは安全。また、配合と与える量両方を考慮する必要がある。緩効性化成肥料は表面がコーティングされていて少しずつ溶け出すので、効果が徐々に長期間(2年余り)持続する。化成肥料に対し骨粉等の有機質肥料がある。化成肥料は成分が調整されているが有機質肥料は調整されていないが使用に問題はない。

街路樹は施肥しなくても成長している。土壌に酸素と水分が入るようにしてそこに堆肥を入れてやるのが樹木を元気にする方法である。バーク堆肥は肥料ではなく、土壌に空気の層を作り、水分を行き渡らせ、根にとって心地良い状態を作るという役割をもつ。ただ、入れすぎると乾燥してしまうので注意が必要。

根について

施肥するときに太い根を切ってしまうのは本末転倒。1cm以上の太さの根は残して穴を掘ること。樹木医は穴を掘るときスコップは使わずドライバーで少しずつ掘っていき(深さ50cmの穴を掘るのに2時間位かける)、5mm以上の根は傷めないように残す。10~0.5mmの根を切ると細根が多く出るので、細い根を切ることも意味はある。従ってなるべく沢山の穴を掘り肥料を少しずつ与えることも良い方法。大池公園の土壌は粘土質なので根は地表近くに広範囲にある。細根は1月程度で死に、また新しい細根が出る。根の伸びる範囲は枝や葉と深く関係がある。枝葉が出ていると根も伸びる。一般に枝葉の先端の範囲まで根は伸びていると言われている(実際にはもっと伸びている)ので葉の先端あたりに施肥する。根元や遠く離れて施肥しても効果はない。大木がその頂部まで水分を揚げるのには力がある。根が水を吸い、健全な樹木は葉の蒸散の力で先端まで水分が揚がる。

施肥の効果

大池公園のさくらは状態が悪化してきている。樹齢5~10年のさくらを植えて、60年程が経過しているが、粘土質土壌なので根は下へは張らない。さくらにとって環境は良くないのでそのまま放置できない。これから再生のために手入れを行えば少しずつ反応してくれると思う。今回施肥したが、今年の芽出しには効果は現れない、後に定期的に観察すると面白いと思う。それでも、さくらは比較的反応が早いので来年には、施肥の効果を観察できたらいいと思っています。

今回参考にした弘前公園の方法(沢山の穴を掘り土を柔らかくしている)



使用材料

固形肥料



バーク堆肥



施肥と土壌改良の様子



令和4年度イベント実施区域

樹木医さんの説明(左)と実演(右)



作業状況

今回の土壌改良・施肥の手順

- ① さくらの根の周りにスコップ等で(太さ1cm以上の根を切らないよう)穴を掘る(直径・深さ15~20cm)。
- ② 掘った土とバーク堆肥を混合し、穴の中に入れ、今回固形肥料(N:P:K=3:6:4)3粒を入れ、再びバーク堆肥と現状土を盛土状に埋戻す。
- ③ 表面を軽く抑え、残った土はならすか別場所に運搬する。

作業完了

今回の作業で、偶然昨年のワークショップで施肥した固形肥料が出てきました。驚くほど細根がたくさん発生していました。



こんなに多くの作業が行われました
これまで実施された“さくら再生ボランティア”活動日と市民等参加人数(AM9:30~2時間程度、市・管理職員等除く)

作業状況(支障枝剪定・伐採)



作業状況(施肥・土壌改良)



月	12月				1月						2月				3月		
	日(曜日)	13日(火)	16日(金)	20日(火)	23日(金)	10日(火)	13日(金)	17日(火)	20日(金)	24日(火)	27日(金)	7日(火)	10日(金)	14日(火)	17日(金)	28日(火)	3日(金)
参加人数	雨中止	3人	6人	4人	5人	4人	4人	4人	4人	5人	3人	6人	雨中止	7人	4人		
作業内容	-	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	施肥	施肥	施肥	-	施肥	施肥	施肥	施肥

ちょっと一息(大池公園のさくらは弱っている状況ですが、街中で驚くような生命力を持ったさくらを見かけたので紹介します)

太枝が枯死または剪定後、樹皮が傷口を塞ぐ中で新しい主幹並みの太枝が発生している(名古屋市北区金作公園)



枯死後根元から発生したヒコバエの元気な1本を残し、その他を剪定し再度成木化した(名古屋市中区愛知県公館前)



参加者からの質問と返答

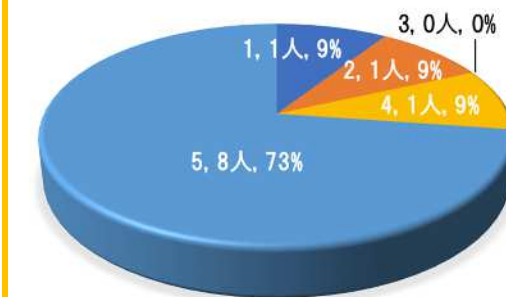
参加者から①こぶ病と②カミキリムシ被害対策の質問がありました。いずれも現在では抜本的な解決方法はなく、①は特定の薬はなく発病した個所を切り取る、②は消毒(樹幹注入等)するか伐採し撤去するしかないのが現状とのことでした。



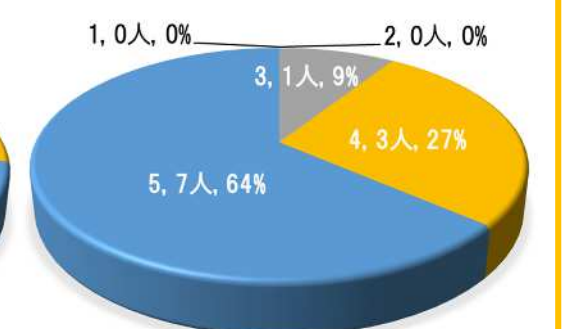
第3回イベント参加者アンケート結果(回答数11)

1 参加した感想

【樹木医さんの説明】
1 難しかった<5良かった



【イベント全体】
1 参加したくない<5 また参加したい



- ・桜の成長維持の状態などが理解できた
- ・土壌改良の必要性が良くわかった
- ・一問一答で早く回答頂けて良かった
- ・いみがわかんなかった
- ・素人にもわかりやすかったです

- ・穴ほりを楽しめた
- ・継続することで効果が見られると思っているので

2 これまでの再生活動(土曜日イベント、平日活動)に参加してみた感想

- ・短い時間の作業ですが、少しでも再生につながっていけばうれしいです。
- ・幅広い世代に渡って、興味を持ってもらえる様に(小学生~経験者)工夫されたプログラムで良いと思います。参加してくれた子供達が将来に渡って樹木に興味を持って、そんな子供達が増えて、緑を大切にする社会につながって行くと良いですね。
- ・桜のことに詳しく知ることができた。
- ・平日の活動を実施しても良い。実施回数を多くしない。
- ・個人的には先日のボランティア時に自然に折れた枝を頂いたの、桜染めをやってみようかと思っていますが、何か形に残るものがあると良いかもしれないですね。(食品は難しいとして、大池公園の桜を活かした物品等)
- ・公園内がきれいになっていくのが楽しみです。

3 今後再生活動でやってみたいこと、現在の改善点、今後の意気込み

- ・今回土壌改良・施肥した回りの根本(元)の回り(周り)はさく(柵)を作った方が良い。
- ・都合の合う時は、継続的に参加したいと思います。

4 その他自由意見

- ・前回に比べて、公園の樹木の剪定、伐採がされていて、風景が違っていたので驚きました。桜の時期に訪れようと思います。